



相談・サポート

港区子ども家庭総合支援センター

港区子ども家庭総合支援センターは、子ども家庭支援センター、児童相談所、母子生活支援施設の複合施設であり、児童虐待、非行、DVなどの子どもと家庭の問題に、発生予防から相談、一時保護、措置、自立支援まで、各施設が必要に応じ連携して対応し、切れ目なく支援していきます。また、区内の幅広い子ども家庭支援ネットワークの核として、関係機関と連携し、妊娠期から子育て期、思春期、児童の自立まで、切れ目なくきめ細かな支援を行います。

☐ 子ども家庭支援センター

子育て中の人が集う子育て支援の拠点であり、子育てひろばの運営や子育て支援のネットワークづくりなどを行います。

また、子どもの養育に関すること、ひとり親家庭の支援、夫婦間のDVや離婚問題など、子どもと家庭が直面している様々な課題に対し、ワンストップで総合的に支援します。

☐ 児童相談所

児童福祉司、児童心理司、保健師、医師、弁護士等が協力し、児童虐待などの養護相談、非行相談、障害相談等の子どもと家庭の問題に対応します。安全確認、調査、相談、援助を行い、必要に応じて、一時保護、里親委託、施設入所措置等を適切に行います。

☐ 母子生活支援施設

様々な事情で養育が困難となった母子家庭を入所させ、保護するとともに、自立を促進するための生活支援や養育支援などを実施します。

また、退所者への相談にも応じ、母子の着実な自立を支援します。

港区子ども家庭総合支援センター

📍 港区南青山5-7-11

☎ 5962-6500

● アクセス ●

【地下鉄】

東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線

表参道駅 B3出口：徒歩3分

【バス】

都営バス 渋88 「南青山六丁目」下車4分

ちいばす 青山ルート 「南青山六丁目」下車5分

ちいばす 青山ルート 「南青山小学校」下車6分

※公共交通機関をご利用ください。





子ども家庭支援センターの相談事業

❖ 子ども・子育て・家庭に関する総合相談

港区子ども家庭相談ダイヤル ☎ 5962-7215

18歳未満の子どもからの相談や子育てに関すること、配偶者等からの暴力、離婚問題、ひとり親に関すること等を相談することができます。

【電話相談・来所相談・訪問相談の受付時間】

月～金曜 8:30～18:00

土曜 8:30～17:00

(祝日、年末年始を除く)

❖ 専門相談

【電話相談・来所相談の受付】 ☎ 5962-7202

子どもと子育てに関する相談を保健師や心理士に相談することができます。

専門相談	受付時間	月	火	水	木	金	土
保健師相談	9:00～13:00		○		○		○
	14:00～17:00		○		○		○
心理士相談	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
	13:00～17:00	○	○	○	○	○	○

(祝日、年末年始を除く)

❖ 家庭相談

家庭相談員に家庭内で発生する様々な問題を相談することができます。(要予約)

相談時間	火	金
10:00～10:50		○
11:00～11:50		○
13:15～14:05	○	○
14:15～15:05	○	○
15:15～16:05	○	○
16:15～17:05	○	○

❖ 離婚に関する法律相談

養育費や親子交流の取決め等、離婚に関することを弁護士に相談することができます。相談日の前日17:00までに電話で相談日時を予約してください。

日時：毎月第3水曜日(祝日の場合は、変更又は中止)

① 13:00～13:45

② 14:00～14:45

③ 15:00～15:45

■ 港区おとなの子育て相談ねっと

パソコン・スマートフォンから子育ての悩みや不安をいつでも相談することができます。



<https://kosodate.minato.kodomosoudan.net>

○対象：港区に住む18歳未満の子どもの保護者と妊婦

- ・名前を言わなくても相談することができます。
- ・回答には2、3日かかります。(遅くとも1週間以内に回答を送ります)

■ みなと子ども相談ねっと

携帯電話・スマートフォン・パソコンから悩みや不安をいつでも相談することができます。



<https://minato.kodomosoudan.net>

○対象：港区に住む18歳未満の子ども

- ・名前を言わなくても相談することができます。
- ・回答には2、3日かかります。(遅くとも1週間以内に回答を送ります)

児童相談所

問 児童相談所 ☎ 5962-6500



児童相談所では、様々なご相談に対して、児童福祉司、児童心理司、保健師、医師、弁護士などの専門職員が協力して子どもと家庭の問題に対応します。

相談の種類

☒ 養護相談

養育困難

保護者の病気、死亡、離婚等の事情により、子どもの養育が困難になったときの相談

児童虐待の相談と対応

- 身体的虐待 …………… 子どもをたたく、蹴る、戸外に閉め出すなど
- ネグレクト(育児放棄) … 食事・衣服・住居等が極端に不適切、重大な病気になっても病院につれていけないなど
- 心理的虐待 …………… 子どもへの脅しや心を傷つける言動、子どもの前で夫婦喧嘩をするなど
- 性的虐待 …………… 子どもへのわいせつな行為、性行為を見せるなど

☒ 障害相談

言語発達、肢体不自由、ことばの遅れ、発達障害に関する相談

知的障害児に関する相談、療育手帳(愛の手帳)に関する相談

☒ 育成相談

乳幼児の育児・しつけや遊び、子育ての不安等の相談

不登校、いじめの相談

子どもの性格行動に関する相談(友達と遊べない、落ち着きがない、家庭内暴力等)

☒ 非行相談

△ 犯相談

18歳未満で、問題行動(家出や親のお金の持ち出しなど)のある子どもに関する相談

触法相談

14歳未満で法に触れる行為(器物破損・暴力行為・盗みなど)を行った子どもの相談

☒ 保健相談

乳児、早産児、虚弱児、児童の疾患、事故・ケガ等の健康管理に関する相談

☒ 里親の相談

里親になりたい、里親に子どもを預けたい等、養育里親(養育家庭)に関する相談

特別養子縁組に関する相談

☒ その他の相談

その他の家族や子どもの相談

【来所相談】 月～金曜日 午前8時30分～午後6時

【電話相談】 児童相談所 ☎ 5962-6500 月～金曜日 午前8時30分～午後6時

港区児童虐待相談ダイヤル ☎ 0120-483-710 (24時間365日)

児童精神科医による相談（こころの健康相談）

問 みなと保健所健康推進課地域保健係 ☎ 6400-0084



18歳以下のお子さんのこころの問題や行動面について心配なことを児童精神科医が相談に応じます。次のような相談をお受けします。

- <情緒面の心配> ● かんしゃくを起こしやすい ● 極端なきれい好き
- <行動面の心配> ● 登校しぶり ● 自分を傷つけてしまう
- <発達面の心配> ● コミュニケーションが苦手 ● ことばの遅れ
- <こころが関係していそうな身体症状の心配> ● 学校に行く前の腹痛や頭痛 ● 起きられない

❏ 利用について

まずは保健所までお気軽にお電話ください。

【来所相談】

日程については「広報みなと」や港区のホームページをご覧ください。

母子メンタルヘルス相談

問 みなと保健所健康推進課地域保健係 ☎ 6400-0084



妊娠、出産、育児期にある女性は、時として心のバランスをくずし、育児不安や心の問題を抱えることがあります。母親自身が抱える心の問題に対して、専門の医師が相談に応じます。

医師による1回30分の面接です。保健師も同席して一緒にお話を聞きます。

※別室で保育があります。予約時にお申し出ください。

※プライバシーは守ります。

【と き】毎月2回（予約制）

【対 象】区民で、妊娠中・育児中の母親とその家族

日程については「広報みなと」や港区ホームページをご覧ください。

男女平等参画センター（リーブラ）相談室 「心のサポートルーム」

問 男女平等参画センター（リーブラ） ☎ 芝浦1-16-1（みなとパーク芝浦）2階
心のサポートルーム相談専用電話 ☎ 3456-5771（相談時間内）



男女平等参画センター（リーブラ）では、家族や子どもの教育、配偶者やパートナーからの暴力、自分自身の生き方、犯罪被害、SOGIE等に関することなど、さまざまな悩みの解決への援助として、専門のカウンセラーや弁護士が無料で相談に応じます。相談に関する秘密は固く守ります。

❏ 相談時間 ※年末年始・臨時休館日を除く。

【一般相談】電話・面接（面接は予約制）

日中／月～土曜 午前10時～午後4時 受付：午後3時まで

夜間／火・金曜 午後6時～9時 受付：午後8時まで

【法律相談】面接（予約制 原則月2回）

【夫婦・家庭問題専門相談】面接（予約制 原則月1回）

【みなとLGBTQ相談】電話・面接（面接は予約制 原則月1回）

グループお母さんの時間

問 みなと保健所健康推進課地域保健係 ☎ 6400-0084



子育てや家庭内での心配ごと、親同士の間関係など日ごろのつらい気持ちを、語り合いを通して分かち合い、共感するお母さんのためのグループです。

※別室で保育があります。予約時にお申し出ください。

※プライバシーは守ります。

【と き】毎月1回(予約制)

【対 象】区内在住の育児中の母親

日程は港区ホームページをご覧ください。

港区立児童発達支援センター(ぱお)

問 港区立児童発達支援センター(ぱお) ☎ 6277-3106
F 6277-3844 開館時間 月～土曜 9:00～18:00



発達にまずきや遅れがあるお子さんを対象に、発達に関する相談・支援を行っています。

たとえば・・・

○言葉がゆっくり ○歩き始めが遅い ○落ち着きがない

○不器用さがある ○お友達とのトラブルが多い などありませんか？

お気軽にお電話でご相談ください。

面談では、必要に応じて心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士等が相談をお受けします。

❖ 発達支援

名 称		内容・対象 など
相談支援	総合相談	お子さんの成長や発達に関する相談を受けます。また、親子グループ支援や個別支援(0～2歳児)を実施しています。 【実施日】月～土曜 9:00～18:00
	計画相談支援・障害児相談支援	障害福祉サービスや障害児通所支援等の利用に向けての相談と、障害児支援利用計画の作成を行います。
障害児通所支援※	児童発達支援(通園)	日々の活動の中で基本的な生活習慣を身に付け、遊びを通してさまざまな経験を重ねます。小さな集団の中で友達とのやりとりを通して集団生活に適應できる力を身に付けます。 (同日に保育園との併用ができます) 【実施日】週5日のクラス：月～金曜 週2日のクラス：火・水曜または木・金曜 【対象】3～5歳児
	児童発達支援(グループ支援)	活動を通して「できる」経験を重ねることで、幼稚園、保育園等において自信を持って物事に取り組めるよう支援します。 【実施日】月～金曜の午後(月2～3回) 【対象】幼稚園・保育園等に通う3～5歳児
	児童発達支援(個別支援)	お子さんの状況に合わせて、心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による個別支援を行います。 【実施日】月～金曜 【対象】おおむね3～5歳児

名 称		内容・対象 など
障害児通所支援※	放課後等デイサービス	心理士、作業療法士、言語聴覚士が中心となり専門的見地からお子さんの課題に応じた個別支援および小集団で発達支援を行います。生活能力の向上および社会性やコミュニケーションスキルを伸ばすことをめざします。 【実施日】月～金曜の午後及び土曜(月1～2回) 【対象】学校に就学している児童
	居宅訪問型児童発達支援	居宅を訪問し、日々の生活における基本的な生活習慣を身に付け、遊びを通して日常生活に必要な動作を体験したり、遊びの幅を広げたりします。 【実施日】月～金曜(月2回程度) 【対象】重度の障害等のため、児童発達支援等を受けるために外出することが困難な児童
	保育所等訪問支援	保育園、幼稚園、学校等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行います。 【実施日】月～金曜(月2回程度) 【対象】保育園等集団生活を営む施設に通う0～18歳未満

※障害児通所支援の利用にあたっては、通所受給者証が必要です。

港区生活・就労支援センター

問 港区生活・就労支援センター

港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所2階 ☎ 5114-8826



港区内に居住し、生活、仕事や家計のことなど、経済的に困っている方の支援を行う相談窓口です。

【支援内容】 ※印は生活保護世帯も対象となります。

● 自立相談支援

経済面・生活面の悩みを整理し、作成した支援プランに沿って相談者と一緒に課題解決に取り組みます。

● 就労支援

就労支援員が求職活動のお手伝いをします。

● 就労準備支援 ※

すぐに就労につくことが難しい方に、生活習慣の改善や社会参加能力の向上等を図り、就労できる状態になるよう支援します。

● 家計改善支援 ※

家計管理や債務・滞納整理を助言・指導します。

● 学習相談支援 ※

子どもの学習や進学に関する相談支援を行います。

● ひとり親家庭支援 ※

ひとり親家庭の置かれている状況に特に配慮しながら、求職活動を支援するとともに、抱える問題を支援員と一緒に解決していきます。

● 住居確保給付金

失業等により住居を喪失、またはその恐れがある方に対し、住居確保のための給付金を支給します。

【利用時間】

月～金曜 8:30～17:15 (休:土・日・祝日・年末年始)

その他の相談窓口

港区や公的団体が実施している子育てに関連する相談窓口の主なものです。詳しくは、各連絡先へお問い合わせください。

◆港区が実施している相談

内容	相談機関	連絡先	受付日時
いじめ・不登校・学校や友達関係の悩みなど	港区立 教育センター	【来所相談】 ☎ 5422-1545	月～金曜 9:00～17:00 (祝日、年末年始休み)
		【電話相談】 ☎ 5422-1546	月～金曜 9:00～19:00 土曜 9:00～17:00 (祝日、年末年始休み)
子どもの成長や発達についての総合的な相談	港区立 児童発達支援センター (ばお)	☎ 6277-3106	月～土曜 9:00～18:00 (祝日、年末年始休み)
区政に関することや日常生活についての相談や情報提供など	外国人相談 (地域振興課国際化推進係)	☎ 3578-2524 3578-2046	月～金曜 9:00～12:00 13:00～17:00 (祝日、年末年始休み)
日本語を母語としない子どもや保護者についての相談	多文化キッズコーディネーター (地域振興課国際化推進係)	同上	同上
区立保育園・認定こども園 子育て相談電話 (子育て相談専用電話) 園の職員が、子育てに関する悩みなどの相談に応じています。 ひとりで悩まずに電話してください。	芝保育園	☎ 3455-5039	月～金曜 9:00～17:00
	神明保育園	☎ 5733-6822	
	芝公園保育園	☎ 3438-0595	
	南麻布保育園	☎ 3442-5907	
	本村保育園	☎ 3444-5087	
	西麻布保育園	☎ 3407-5031	
	麻布保育園	☎ 3583-0648	
	飯倉保育園	☎ 3583-5805	
	東麻布保育園	☎ 3584-3811	
	元麻布保育園	☎ 5422-7338	
	赤坂保育園	☎ 3583-5107	
	南青山保育園	☎ 3401-5047	
	青山保育園	☎ 3401-5041	
	伊皿子坂保育園	☎ 3444-5404	
	高輪保育園	☎ 3449-5047	
	白金保育園	☎ 3441-5022	
	神応保育園	☎ 5422-6363	
	しばうら保育園	☎ 5232-1130	
こうなん保育園	☎ 3450-5004		
たかほま保育園	☎ 5781-0255		
台場保育園	☎ 5500-5097		
芝浦アイランドこども園	☎ 5443-7337		

◆港区以外の公的団体が実施している相談

内 容	相 談 機 関	連 絡 先	受 付 日 時
いじめ問題やその他 SOS	24時間子供SOS ダイヤル	【電話相談】 ☎0120-0-78310 <small>(夜やみ番あつ)</small>	年中無休 24時間対応
「いじめ」や体罰など 人権侵害の相談など	子どもの人権110番 (法務省)	【電話相談】 ☎0120-007-110 【メール相談】 【LINE相談】 	月～金曜 8:30～17:15
いじめ・不登校・体罰・ 虐待など子どもの人権 に関する相談すべて	子どもの人権110番 (東京弁護士会)	【電話相談・ 面接相談は要予約】 ☎3503-0110	月～金曜 13:30～16:30 17:00～20:00 (受付は19:45まで) 土曜 13:00～16:00 (受付は15:45まで)
非行問題や犯罪被害、 いじめ問題など	警視庁大森少年センター	【電話相談・ 面接相談は要予約】 ☎3763-0012	月～金曜 8:30～17:15 (祝日、年末年始休み)
20歳未満の方、家族や 学校関係者からの相談	ヤング・テレホン・コーナー (警視庁少年相談係)	【電話相談】 ☎3580-4970	年中無休 24時間対応
幼児から高校生相当 年齢の方を対象とした 「いじめ」に関する相談	東京都いじめ相談 ホットライン (東京都教育相談センター)	【電話相談】 ☎0120-53-8288	年中無休 24時間対応
精神的な問題で困った 時や、つらい時の相談	夜間こころの電話相談 (東京都)	【電話相談】 ☎5155-5028	毎日 17:00～22:00 (受付は21:30まで)
お子さんの行動やこころ の発達の問題に関する 相談	こころの電話相談室 (東京都立小児総合 医療センター)	【電話相談】 ☎042-312-8119	月～水曜 9:30～11:30 13:00～16:30 (祝日、年末年始休み)
日頃抱えている問題や 悩みについての相談	外国人相談室 (港区国際交流協会)	【電話相談・ 面接相談は要予約】 ☎6440-0233	月～金曜 9:00～12:00 13:00～17:00 (祝日、年末年始休み)
思春期特有の健康上の 悩み(性に関すること を含む)に関する相談	とうきょう若者ヘルスサ ポート(わかさぼ)(東京都)	【電話相談】 ☎0120-372-463 【メール相談】 	水曜 15:00～20:00 日曜 9:00～14:00 (元日休み)
育児のこと・親子のこ となど	親子のための相談LINE	【LINE相談】 	平日 9:00～23:00 (受付は22:30まで) 土・日曜、祝日、年末年始 9:00～17:00
生きるのがつらいと感 じた時の悩み相談	相談ほっとLINE@東京(東 京都)	【LINE相談】 	毎日 15:00～23:00 (受付は22:30まで)
友達、勉強、家族、お金 のことなどの悩み相談	弁護士子どもSNS相談(第 二東京弁護士会)	【LINE相談】 	月曜・木曜・日曜 19:00～21:00

「虐待かな」と思ったら

問 港区児童虐待相談ダイヤル ☎ 0120-483-710

問 児童相談所 ☎ 5962-6500



❖ 子どもに対する虐待とは

親、または親に代わる養育者によって子ども自身が心身に苦痛を感じる行為が行われることをいいます。虐待は子どもの健全な成長や発達を損ない、将来まで深刻な影響を与え、子どもが安全で健やかに育てられる権利を奪う人権の侵害です。

しつけと虐待のちがい

チェック
POINT

しつけのつもりであっても、親の言葉や行為が子どもの育ちに悪い影響を与えているとすればそれは虐待です。虐待であるかどうかは親の事情と一切関係なく、子どもの視点から判断することが大切です。

❖ 虐待にはどのようなものがあるのでしょうか

①身体的虐待

殴る、蹴る、投げ落とす、異物を飲ませる、熱湯をかける、不自然な骨折、戸外に締め出すなど。

②心理的虐待

ひどい言葉で子どもを傷つける、きょうだい間で差別的な扱いをする、DV・夫婦喧嘩の目撃、恐怖や不安を与える、無視や拒否的な態度など。

③性的虐待

子どもに性的ないたずらや性的行為を強要する、性器や性交を見せる、性的ビデオを見せる、児童ポルノの被写体にするなど。

④ネグレクト

適切な衣食住の世話をしない、病気やけがをしても病院に連れて行かない、自動車内や家に置き去りにする、家に閉じ込める、子どもの意思に反して学校へ行かせない、同居人による虐待行為を放置するなど。

❖ 虐待の背景

さまざまな要因が重複することで問題が起こることがあります。

ひとり親や複合家族、核家族孤立

生活の不安定・経済的困難

対人関係の問題

育てにくさ

問題発生



気づき・発見・
通告・相談

育児不安・負担

DV(ドメスティックバイオレンス)

夫婦の不和

心身の疾患

児童相談所全国共通
ダイヤル 189

親子のための
相談LINE



「DVかな」と思ったら

問 子ども家庭支援センター家庭相談係
港区子ども家庭相談ダイヤル ☎ 5962-7215



❖ ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

配偶者やパートナー、恋人など親密な関係にある(あった)者からふるわれる暴力のことです。DVは、暴力を受けた側の心身や生活に大きな影響を生じさせ、人権を踏みしめる行為です。そして、DVがある家庭の中で育つ子どもは、健全な成長や発達を損ない、将来まで深刻な影響を与え、子どもが安全で健やかに育てられる権利を奪われてしまいます。

❖ DVにはどのようなものがあるのでしょうか

暴力にはさまざまな形があり、次の4つに分類されます。多くの場合、これらの行為が組み合わされ、繰り返し、継続的に行われ、相手を暴力でコントロールします。

①身体的、物理的暴力

殴る、蹴る、髪をつかんで引きずるなど、体を傷つける暴力
物を壊す、家の中を叩いたり壊したりすること

②精神的暴力

大声でどなる、おどす、「だからお前はだめなんだ」といった屈辱的な言葉や人格を否定する言葉を繰り返すなどの言葉の暴力

③性的暴力

意思を無視してセックスを強要する、避妊に協力しない、中絶させられる、ポルノを見せられる、暴力的なセックスをするなど。

④経済的、社会的暴力

生活費を渡さない、支出を細かくチェックされ追及される、行動を監視・制限される、実家に行くことや友達に会うことを嫌うなど。

❖ 暴力を受けた、命の危険を感じたら

最寄りの交番、警察へ、迷わず助けを求めてください。

DV加害者更生プログラム利用助成金交付事業

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214



DV加害者が、被害者(配偶者)との関係改善のため、民間団体が実施する「DV加害者更生プログラム」を利用する場合に、経費の一部を助成します。プログラム申込前にお問い合わせください。

【対象】

港区に住み登録があるDV加害者と配偶者

(届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む)

社会的養護の施設・制度

問 児童相談所 ☎ 5962-6500

❖ 乳児院

次のような状態にある2歳未満の乳児をお預かりします。

- 保護者が出産・傷病等緊急の場合などで、保護者のもとで養育できない場合
- 父母が長期にわたる病気や心身の障害等で、乳児を養育できない場合
- 父母と死別したり、父母に遺棄されたり、保護者がいない場合

❖ 児童養護施設

次のような状態にある2歳から18歳未満の児童をお預かりしています。

- 父母と死別したり、父母に遺棄されたり、父母が長期にわたり心身に障害があるなど、現に保護者の養育を受けられない児童
- 虐待等の理由で家庭での生活が適当でない児童
- その他、環境上養育を必要とする児童

❖ 里親・ファミリーホーム

さまざまな事情により家族と暮らせない子どもを、自らの家庭に迎え入れて養育する制度です。里親制度には、一定期間家庭に迎え入れて養育する「養育家庭」、養子縁組を目的とした「養子縁組里親」などがあります。

❖ 児童自立支援施設

不良行為をなし、またはなすおそれのある児童および家庭環境その他の環境上の理由により生活指導を要する児童を対象に、生活指導、学習指導、職業指導等を通じて心身の健全な育成および自立支援を図る児童福祉施設です。

❖ 自立援助ホーム（児童自立生活援助事業）

自立を目指す義務教育を修了した子ども等に相談、日常生活の援助、生活指導及び就業の支援を行う施設です。



ひとり親家庭支援

☎ 子ども若者支援課子ども給付係 ☎ 3578-2432



区内在住のひとり親家庭またはこれに準ずる家庭の親（養育者）と児童を対象に、さまざまな支援を行っています。以下に該当する人で、まだ申請をしていない人は各総合支所区民課保健福祉係へご相談ください。各手当により、支援内容（手当額）や所得制限額が、異なります。詳しくは、お問い合わせください。

【支援内容】

ひとり親家庭等医療費助成 医療費の一部を助成します。

児童育成手当 育成手当が（児童1人につき月額13,500円）支給されます。

児童扶養手当 児童1人の場合、所得に応じて月額46,690～11,010円が支給されます。

【対象】

次の要件に該当する児童を監護・養育しているひとり親家庭（母子・父子）もしくは父母に代わってその児童を養育している家庭

【要件】

次の①～⑧のいずれかに該当すること。

- ①父母が婚姻を解消した
- ②父または母が死亡した
- ③父または母に重度の障害がある
- ④父または母が生死不明
- ⑤父または母が引き続き1年以上児童を遺棄している
- ⑥父または母がDV保護命令を受けた
- ⑦父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている
- ⑧婚姻によらない出生

【所得制限】

各手当ごとに本人および扶養義務者に所得制限があります。

児童扶養手当受給者対象の優遇制度



問 各総合支所 区民課保健福祉係(裏表紙参照)

児童扶養手当を受けている方は次のサービスがご利用になれます。申請が必要です。お住まいの各総合支所区民課保健福祉係の窓口へお問い合わせください。

※必ず、児童扶養手当受給中であることを伝えてください。

港区コミュニティバス乗車券

世帯の世帯員のうちどなたか一人に限り、港区コミュニティバス乗車券(無料)が利用できます。

【申請の際、必要なもの】・児童扶養手当証書

都営交通無料乗車券

世帯の世帯員のうちどなたか一人に限り、都営交通乗車券(無料)が利用できます。

【申請の際、必要なもの】・児童扶養手当証書

JR通勤定期乗車券の割引

普通定期券の3割引で購入できます。定期券はJRの窓口で購入しますが、区が発行した証明書が必要です。

【申請の際、必要なもの】・児童扶養手当証書

・利用者の証明写真1枚

(縦4cm×横3cm・最近6か月以内に撮影したもの)

都営水道料金の減免

基本料金が免除になります。水道局の所管営業所に申請しますが、区が発行する申請書が必要です。

【申請の際、必要なもの】・児童扶養手当証書

粗大ゴミ収集手数料の免除

粗大ごみ受付センターに直接連絡してください。後日、粗大ごみ受付センターからご自宅宛てに手数料免除申請書が届きます。

【連絡先】粗大ごみ受付センター ☎ 6747-9253

処理券の受取方法は、2通りです。

① 児童扶養手当証書の写しと手数料免除申請書をみなとりサイクル清掃事務所に郵送してください。

【郵送先】〒108-0075 港区港南3-9-59 みなとりサイクル清掃事務所 ☎ 3450-8025

② お急ぎの場合は、通知書、申請書を各総合支所またはみなとりサイクル清掃事務所に持参して申請してください。

【申請の際、必要なもの】・児童扶養手当証書

・粗大ごみ受付センターの通知書

・手数料免除申請書

ひとり親の就労支援

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214

ひとり親家庭の経済的自立等を促進する制度があります。

■ 港区ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業

20歳未満の子を扶養しているひとり親家庭の父又は母が、養成機関で対象資格取得のため修学する場合、高等職業訓練促進給付金を支給し、生活の負担軽減を図ります。

受給要件がありますので養成機関の受講前に事前相談が必要です。詳しくはお問い合わせください。

■ 港区ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

20歳未満の子を扶養しているひとり親家庭の父又は母が、指定した講座を修了した場合、受講経費の一部を支給します。

受給要件がありますので講座受講前に事前相談が必要です。詳しくはお問い合わせください。

■ 港区ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金事業

20歳未満の子を扶養しているひとり親家庭の父又は母並びにひとり親家庭の父又は母に扶養されている児童が、高卒認定試験の合格を目指す講座を修了した場合、受講経費の一部を支給します。

受給要件がありますので講座受講前に事前相談が必要です。詳しくはお問い合わせください。

港区生活・就労支援センターでも、ひとり親家庭の就労を支援しています。

ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214



区内に住所があり、小学生以下の児童がいるひとり親家庭において、親の就業や疾病などで家事や育児の日常生活にお困りなとき、ヘルパー等を派遣し、家事・育児等の援助を行います。

1月あたりの派遣時間数(上限)は、児童の年齢により異なります。所得に応じた費用負担があります。

事前相談・利用申請が必要です。詳しくは、お問い合わせください。

東京都母子及び父子福祉資金貸付金

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214

都内に6か月以上お住まいの母子家庭または父子家庭で、20歳未満のお子さん等を扶養している方が利用できる貸付金です。

お子さんの進学・入学に必要な修学資金(授業料、施設費、通学費、教科書代など)や就学支度資金(入学金、制服代など)を無利子で貸付けます。

貸付には審査があります。事前にご相談ください。

相談から資金交付までには1か月程度かかります。

離婚前後の親支援事業

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214



親の離婚による子どもの心理的負担の軽減と安定した生活の確保を図るため、18歳未満(親子交流コーディネイト事業は中学生まで)の子と同居している離婚前後の区民を支援します。詳しくは、お問い合わせください。

❖ 裁判外紛争解決手続(ADR)利用助成金

離婚後の養育費、親子交流等に関する取決めをするため、弁護士会又は法務大臣の認証を受けた認証ADR事業者が実施するADRを利用する場合、申込料や1回目の調停期日の費用を助成します(上限5万円)。

❖ 養育費保証利用助成金

民間の養育費保証会社が提供する養育費の支払いを保証するサービスの利用(保証契約)に必要な初回の保証料を助成します(上限5万円)。

❖ 親子交流コーディネイト事業

両親が離婚・別居した後も引き続き子どもが両親のどちらとも関わるができる環境を作り、両親から愛されていることを実感することができるよう、親子交流コーディネイトを通じて支援します。

子育て支援員研修

問 子育てひろば「あい・ぽーと」 ☎ 5786-3250



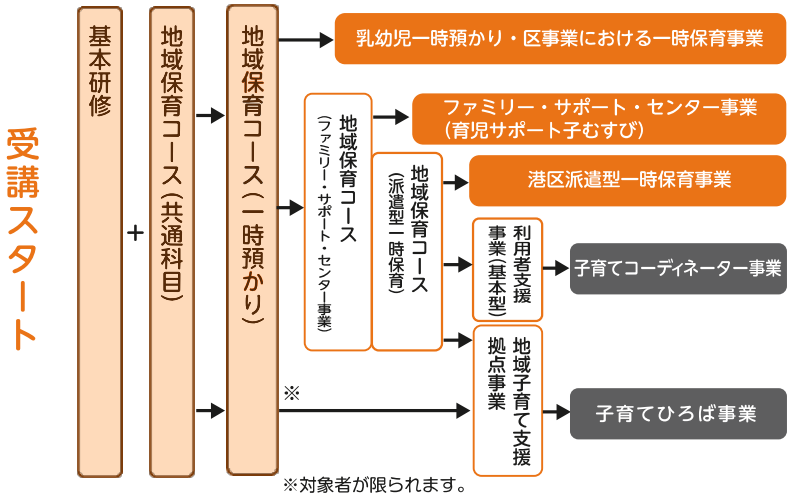
港区では、区内で活動する「港区子育て支援員」の養成を目的とした研修を実施しています。子育てや職場での豊かな人生経験を活かしたいと考えている方のご参加をお待ちしています。

- 対象** 地域子ども・子育て支援などの仕事に関心があり、原則として港区の子ども・子育て支援事業などに従事することを希望する人、または既に従事している人。
- 募集人数** 年間 120 人（予定）
- 費用** 無 料（テキスト代・実習器具代は実費負担）

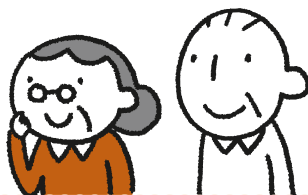
※この研修は受講者を「子育て支援員」として認定するものであり、修了後の雇用先を紹介および保証するものではありません。

子育て支援員研修の内容

初めて受講される方には、必ず「基本研修」と「地域保育コース」を受講していただきます。その後、どのような活動を希望されるかによって、それぞれの専門研修に進むこととなります。専門研修が修了したら、全国で通用する「子育て支援員」としての修了証書が発行されます。



どんな活動が
できるの？



地域保育コース

地域保育コースを修了すると乳幼児一時預かり施設での仕事ができます。また、登録すると、港区事業における一時保育の保育者として活動に従事できます。

さらに、「ファミリー・サポート・センター事業」の専門研修を受けると、「育児サポート子むすび」の協力会員として登録・活動できます。

また、「港区派遣型一時保育事業」の専門研修を受けると、「港区派遣型一時保育」の支援者として活動に従事できます。なお、「港区派遣型一時保育事業」の専門研修科目は「ファミリー・サポート・センター事業」の専門研修を含んでいるため、希望される場合は両方の活動に従事できます。

地域子育て支援コース

地域子育て支援コースには、「地域子育て支援拠点事業」、「利用者支援事業・基本型」の2つの専門研修があります。

「地域子育て支援拠点事業」の専門研修を修了すると、「子育てひろばあっぴい」や「あい・ぽーと」、「みなと子育て応援プラザPokke」等の子育てひろばで職員として業務に従事できます。

「利用者支援事業・基本型」の専門研修を修了すると、「子育てコーディネーター事業」のコーディネーターとして、利用者の相談・支援に携わることができます。

受験生チャレンジ支援貸付事業

問 子ども家庭支援センター家庭相談係 ☎ 5962-7214



中学3年生、高校3年生又はこれに準じる方を対象に、学習塾等の受講料や高校・大学などの受験料を一定所得以下の世帯へ無利子で貸付けます。貸付対象となる学校へ入学した場合、返済が免除（償還免除）されます。

対象要件や貸付条件、申込期限、必要な書類など詳しくはお問い合わせください。

奨学資金給付及び貸付事業（大学等）

問 教育委員会事務局教育推進部 教育長室教育総務係
☎ 3578-2713



学業に意欲を持ちながらも、経済的理由により大学・短大等の修学が困難な方に対して、選考の上、奨学金を給付又は貸付しています。募集時期など、詳しくはお問い合わせください。

【応募資格】 次のすべての要件を満たすこと。

- ・奨学金を受けようとする者の生計を維持する者が、給付又は貸付の日の6月前から引き続き区内に住所を有していること。
- ・経済的理由により修学が困難であること。
- ・次のいずれかに該当すること。
 - ア. 高等学校もしくは高等専門学校、専修学校の高等課程又は各種学校の高等課程を卒業する見込み又は卒業後もしくは修了後2年以内で、初めて大学等に入学する者。
 - イ. 大学等に在学している学生等であること。
- ・学業成績が特に優れていること。（給付の場合のみ）

【所得要件】 給付型の場合は所得要件があります。詳しくはお問い合わせください。

※貸付型は所得要件が撤廃されました。

港区在宅療養相談センター

問 港区在宅療養相談センター ☎ 6435-0758 📠 5476-0208



区民の方の在宅療養生活全般に渡る、医療・療養・介護に関する相談をお受けします。

【受付時間】 月曜～金曜 午前9時～午後5時（祝日、年末年始を除く）

医療相談

問 港区医療相談窓口 ☎ 6453-7137

次のような医療に関する相談を電話で受け付けます。

- ・医療のことで相談できるところを知りたい
- ・病気やケガの一般的な対応を知りたい
- ・近隣の医療機関を知りたい

【受付時間】 月曜～金曜 午前9時～午後4時30分（祝日を除く）

入院のベッドが20床以上ある病院に関する相談は、「東京都患者の声相談窓口」へお願いします。

☎ 5320-4435

「福祉総合窓口」にご相談ください

問 各総合支所区民課保健福祉係（裏表紙参照）
各総合支所区民課生活福祉係（裏表紙参照）



各総合支所区民課の「福祉総合窓口」では、福祉に関する全てのご相談をお受けし、保健師等の専門職員や福祉関係機関等と連携して支援します。

ご相談日時は事前に区ホームページから予約することもできます。

【受付時間】 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時（祝日、年末年始を除く）

福祉総合窓口
受付予約システム



◀このマークが目印です